

# 教団新報

定価 1部220円(本体200円+共283円)  
 予約購読料 1年分 3,962円  
 紙代のみ 3,080円  
 振替 00140-9-145275  
 本紙を購読ご希望の方は、前金を  
 そえて、お近くのキリスト教書店  
 へお申し込み下さい。  
 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団  
 169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
 日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546  
 FAX03(3207)3918  
 URL http://uccj.org  
 発行人 網中彰子  
 編集主筆 嶋田恵悟  
 印刷所 株式会社きかんし

## 教区総会報告

### 2024年度 3

## 聖餐の恵みに与りながら

### 東京・東海・関東・東中国・西東京・東北

#### 東京

### 選挙規則、規則変更条項を新設

第84回東京教区総会が、5月28、29日の二日間、にわたり富士見町教会にて開催された。感染症対策のためそれぞれ2度の書面決議、公共施設での開催が続いたが、今回2019年度以来5年ぶりに教会が会場となった。開会時点での正議員の出席者数は464名中300名だった。

議長報告で渡邊義彦議長は、教区および教会がコロナ禍によって制限されていた活動を再開させている一方、多くの教会で教勢が回復していない現状に触れた。その上で議長はこのようなかで教会が礼拝、伝道、牧会を継続していく必要性と、新たに甲和北伝道所と堀切こうとう教会が誕生したことへの感謝を述べた。また西東京教区と共同管理している教区墓地の今後のあり方について

議論が始まっている旨に触れた。それを受けて古旗誠基所管理委員長が、墓所が満杯に近づいていること、「納骨から50年後」と定められている合葬の規定の改定等に取り組んでいること等を説明した。

教区三役選挙では投票に先立ち、本総会に限り任期一年で選挙を行うことが提案された。その理由として、コロナ禍の影響で三役選挙と教団総会議員選挙が重なっているのを隔年交互の実施に戻すためと説明された。本案は賛成多数で承認された。この結果に基づき選挙を行ったところ渡邊議長、伊藤英志副議長、遠藤忠書記がいずれも再選を果たした。

また常置委員および教団総会議員の選挙規則に、規則変更条項を新設する変更案が常置委員会より提案された。本議案も賛成多数で承認されたが、一方で選挙規則について教区が議論して課題の解決に取り組むよう求める意見も出た。

教団問安使として挨拶に立った藤盛勇紀教団総会副議長に対して、終了した「信徒の友」の連載に代わる伝道推進に関する新たな発信手段への要望が出た。

【教職】原田裕子(葉円台)、大友英樹(赤羽)、左近深恵子(美竹)、大塚啓子(目黒原町)、東野尚志(滝野川) 友英樹(赤羽)、東野尚志(滝野川)、大塚啓子(目黒原町)、松井陸(聖徒)

【教職】林牧人(西新井)、岸憲秀(千葉本町)、藤盛勇紀(富士見町)、伊藤英志(三軒茶屋)、高橋潤(銀座)、原田裕子(葉円台)、渡邊義彦(柿ノ木坂)、村上恵理也(松戸)、左近深恵子(美竹)、遠藤忠(むさし小山)、神保望(日本聖書神学校)、古旗誠(目白)、大塚啓子(目黒原町)、東野尚志(滝野川) 友英樹(赤羽)、東野尚志(滝野川)、大塚啓子(目黒原町)、松井陸(聖徒)

【教職】尾野明子(王子)、高花富夫(大塚操洗足)、大友太郎(経堂北)、守安久美子(船橋)、河野精介(田園調布)、境和彦(富士見町)、伏見陽子(新津田沼)、鈴木齊(銀座)、小川洋一(石神井)、鎌田あつ子(目白)、福島純夫(鳥居坂)、宮越光(松戸)、川添裕一(自由が丘)、北村清隆(用賀)、横山良一(銀座) 友英樹(赤羽)、東野尚志(滝野川)、大塚啓子(目黒原町)、松井陸(聖徒)

【教職】長尾大佑(西新井)、佐藤深之(亀戸)、青笹都(青山)、小玉桂伊(代々木)、柘田恒(柿ノ木坂)、澤田竹二郎(白金)、白井愛子(西片町)、塚越智世江(エバタ)、橋本伊作(佐原)、齋藤光子(千葉本町) (米山恭平報)

【教職】篠田真紀子(浅草)、堀川樹(亀戸)、平野克己(代田)、北川正弥(代々木中部)、藤崎義宣(久ヶ原)、高橋和人(田園調布)、古賀博(早稲田)、大久保正禎(西片町)、真壁蔵(西千葉)、山内慎也(千葉北総) 【信徒】長尾大佑(西新井)、佐藤深之(亀戸)、青笹都(青山)、小玉桂伊(代々木)、柘田恒(柿ノ木坂)、澤田竹二郎(白金)、白井愛子(西片町)、塚越智世江(エバタ)、橋本伊作(佐原)、齋藤光子(千葉本町) (米山恭平報)



問安使として挨拶

第112回東海教区総会が5月28日から29日、池の平ホテル(長野県北佐久郡立科町)にて開催された。開会礼拝では、日本基督教団信仰告白を告白し、宇田真議長による説教「罪を赦される恵み」が語られ、聖餐式が執行された。開会時の出席議員は、正議員199名中127名。

組織と日程承認後、2023年度教区総会議長報告がなされた。報告の中で宇田議長は、第2次5カ年計画が3年目となることに触れ、「2023年度主題『神の恵みの恵みに応える教会』に基づいて実施された各集会の果実を

生かし、2024年度主題『ただキリストを信じる信仰により、罪赦される教会』に基づき学びが深められ、教区全体で共有されることを願っている」と語った。また、ともに伝道の進展を目指すために設置されている「伝道厚生資金会計」について、通常会計からの繰り入れを必要としない制度設計を検討するため、伝道厚生資金制度検討小委員会を設置し、作業を続けていることを報告した。

機構改定の協議が続いている日本基督教団については、「当教区は、信仰告白に言い表されている『教会』の形をかたく

守りながら、第43回教団総会に臨みたい」と教区の姿勢を述べた。一日目の議事は教団総会議員選挙と並行して進められ、准允式執行に関する件も可決された。議事終了後には、昨年度の召天者を覚え、記念式が執り行われた。二日目は、まず准允式が執行され、感謝のうち補教師1名が立てられた。その後、議事は順調に進められ、議案は全て原案通り可決された。

【教職】六戸俊介(愛宕町)、柳谷知之(松本)、宇田真(岩村田)、宮本義弘(沼津)、新里正英(三島)、兵藤辰也(中遠、

【信徒】新庄田鶴子(静岡)

【信徒】新庄田鶴子(静岡)

【信徒】新庄田鶴子(静岡)

【信徒】新庄田鶴子(静岡)

【信徒】新庄田鶴子(静岡)

【信徒】新庄田鶴子(静岡)

#### 東海

### 「ただキリストを信じる信仰により、罪赦される教会」に基づいて

岡草深、土屋芳子(長野県)、八嶋由里子(沼津)、森里光生(遠州)、稲松義人(遠州栄光)、遠藤彰彦(市川)、齋藤晴久(岩村田)、山室設子(沼津大岡)、飯野清三(島)、弓田覚志(愛宕町)、古屋秀樹(愛宕町) (新里正英報)



選出された教団総会議員



「今だけ、金だけ、自分だけ」分だけ、目先の利益のみを追求する現代の

風潮を捉えた言葉として度々用いられている。将来に希望を持ちにくい時代ほど、人は利他的、近視眼的にならざるを得ないのかもしれない。▼教会においても、年々衰退して行く見通しが語られ、続けて来た活動の見直しも提言されている。その状況を否定的に受け止め、現在を続けることに固執したくなるが、その姿勢において自らも現代の風潮に呑まれているように思う。▼神の民の歴史には、興隆期と共に衰退期があり、その中で御言葉が語り継がれて来た。衰退期に活動した旧約の預言者は、「抜き、壊し、滅ぼし、破壊し、あるいは建て、植えるために」(エレミヤ1:10)との御言葉を受け止め、神殿がある町の破壊を告げると共に、滅びの先にある新しい命を指し示すべく、その土地の畑を買った。▼「抜く」とはもちろん、「植える」ことも、今、自分が、実りを収穫できるような務めではない。しかし、その務めは、自分ではない誰かが将来において実りを刈り取り、神の国を立てることにつながる。衰退期を積極的に受け止める、抜き、且つ植えるために歩む者でありたい。

関東

教区財政の検討を含む活動方針を承認

第74回関東教区総会が、5月29〜30日、大宮・ソニックシティ小ホールを会場に正議員168名の出席を得て開催された。久しぶりに開会礼拝において聖餐の恵みにあずかった。

大下陽子氏(益子教会担任)の准允式が、熊江秀一議長のもと執り行われ、新たな教師の誕生を共に喜んだ。

議長報告では、これまで取り組んできた新型コロナウイルス対策支援を終了することが報告された。現在は建物解体されている妙高高原にあるセンター「向山荘」の管理、土地の売却を扱うプロジェクトチームを

立ち上げたとの報告があり、質疑がなされた。

2024年度教区活動方針は、昨年に引き続き「キリストの体なる教会」が堅固になるために、II互助・支援、III世に遣わされる教会としてという3つの大きな軸のもとにたてられた。新たな課題として、教区財政を検討することが「教区財政、集会や委員会の縮小」という項目で触れられた。

東中国

「将来的東中国教区宣教に関する件」を可決

第72回東中国教区総会が5月27〜28日、鳥取教会で、開会時正議員81名中56名が出席して行われた。

教区総会議長報告、常置委員会報告、各地区教区総会の経費に関する意見が出された。参加費を認

上げという視点で信仰継承について横坂幸子常置委員が、「共同の業としての宣教協力」栃木県北教会の宣教協働について飯塚拓也宣教部委員長が務部委員長が、所属教会の子どもとの礼拝の立ち

【教職】熊江秀一(大宮)、小池正造(東新潟)、町田さとみ(初雁)、栗原清(武蔵豊岡)、田中かおる(安行)、成田頭靖(日立)、武田真治(上尾合同)、片岡実子(東中通)、嶋田恵悟(土浦)、佐野明子(塩谷一粒)、新保能宏(新発田)、須賀工越谷、飯塚拓也(竜ヶ崎)、長谷川直紀(桐生) 【信徒】半田香代子(原

市)、金刺英雄(上尾合同)、豊川昭夫(越谷)、クラハム里美(聖学院)、栗原初音(浦和別所)、佐久間文雄(志木)、佐治範子(大宮)、中松聖美(武蔵豊岡)、國吉常喜(宇都宮上町)、富永研司(日立)、富田信也(大宮)、服部利明(筑波学園)、川村雅保(岩槻)、荒川明子(西那須野) (小池正造報)

【教職】熊江秀一(大宮)、小池正造(東新潟)、町田さとみ(初雁)、栗原清(武蔵豊岡)、田中かおる(安行)、成田頭靖(日立)、武田真治(上尾合同)、片岡実子(東中通)、嶋田恵悟(土浦)、佐野明子(塩谷一粒)、新保能宏(新発田)、須賀工越谷、飯塚拓也(竜ヶ崎)、長谷川直紀(桐生) 【信徒】半田香代子(原

【教職】熊江秀一(大宮)、小池正造(東新潟)、町田さとみ(初雁)、栗原清(武蔵豊岡)、田中かおる(安行)、成田頭靖(日立)、武田真治(上尾合同)、片岡実子(東中通)、嶋田恵悟(土浦)、佐野明子(塩谷一粒)、新保能宏(新発田)、須賀工越谷、飯塚拓也(竜ヶ崎)、長谷川直紀(桐生) 【信徒】半田香代子(原

【教職】熊江秀一(大宮)、小池正造(東新潟)、町田さとみ(初雁)、栗原清(武蔵豊岡)、田中かおる(安行)、成田頭靖(日立)、武田真治(上尾合同)、片岡実子(東中通)、嶋田恵悟(土浦)、佐野明子(塩谷一粒)、新保能宏(新発田)、須賀工越谷、飯塚拓也(竜ヶ崎)、長谷川直紀(桐生) 【信徒】半田香代子(原

西東京

「2024年度活動計画に関する件」を可決

第50回西東京教区定期総会は6月2日から3日にかけて、阿佐ヶ谷教会を会場に行われた。開会時、正議員187名中136名の出席があり、定足数(62名)を満たして成立した。

開会礼拝は、井関領司常置委員の司式、梅津裕美常置委員の説教により、一同が神を賛美し、み言葉による力を与えら

れた。また、礼拝の中で古屋治雄常置委員の司式により聖餐式が行われ、参加者一同、聖餐の恵みを共にすることが出来た。

また、「准允に関する件」が上程され1名の教師の准允式の執行が承認され、准允式が執り行われ、新たな教師の誕生を共に喜び祝うことが出来た。

【教職】願念望(白鷺)、竹前治(清瀬信愛)、長尾大輔(相愛) 【信徒】山口玲子(八王子栄光)、米山謙(阿佐ヶ谷)、井関領司(白鷺) 教団総会議員選挙結果 【教職】岩田昌路(狛江)、願念望(白鷺)、岡村恒(高幡)、布村伸一(井草)、衛藤満彦(玉川)、竹前治(清瀬信愛)、古屋治

雄(阿佐ヶ谷)、山口紀子(更生)、山畑謙(小金井緑町)、長尾大輔(相愛)、宮崎新(本郷)、小泉健(成瀬が丘) 【信徒】井関領司(白鷺)、米山謙(阿佐ヶ谷)、寺山正一(小金井緑町)、村山めぐみ(阿佐ヶ谷)、福田栄一(狛江)、山口玲子(八王子栄光)、下田汎子(相愛)、坂上明子(高井戸)、中島暁彦(八王子)、安井重平(荻窪清水)、吉崎純二(吉祥寺)、丹波直子(清瀬信愛) (布村伸一報)



大宮・ソニックシティ小ホールを会場に

【教職】熊江秀一(大宮)、小池正造(東新潟)、町田さとみ(初雁)、栗原清(武蔵豊岡)、田中かおる(安行)、成田頭靖(日立)、武田真治(上尾合同)、片岡実子(東中通)、嶋田恵悟(土浦)、佐野明子(塩谷一粒)、新保能宏(新発田)、須賀工越谷、飯塚拓也(竜ヶ崎)、長谷川直紀(桐生) 【信徒】半田香代子(原

【教職】熊江秀一(大宮)、小池正造(東新潟)、町田さとみ(初雁)、栗原清(武蔵豊岡)、田中かおる(安行)、成田頭靖(日立)、武田真治(上尾合同)、片岡実子(東中通)、嶋田恵悟(土浦)、佐野明子(塩谷一粒)、新保能宏(新発田)、須賀工越谷、飯塚拓也(竜ヶ崎)、長谷川直紀(桐生) 【信徒】半田香代子(原

【教職】熊江秀一(大宮)、小池正造(東新潟)、町田さとみ(初雁)、栗原清(武蔵豊岡)、田中かおる(安行)、成田頭靖(日立)、武田真治(上尾合同)、片岡実子(東中通)、嶋田恵悟(土浦)、佐野明子(塩谷一粒)、新保能宏(新発田)、須賀工越谷、飯塚拓也(竜ヶ崎)、長谷川直紀(桐生) 【信徒】半田香代子(原

【教職】熊江秀一(大宮)、小池正造(東新潟)、町田さとみ(初雁)、栗原清(武蔵豊岡)、田中かおる(安行)、成田頭靖(日立)、武田真治(上尾合同)、片岡実子(東中通)、嶋田恵悟(土浦)、佐野明子(塩谷一粒)、新保能宏(新発田)、須賀工越谷、飯塚拓也(竜ヶ崎)、長谷川直紀(桐生) 【信徒】半田香代子(原



准允式

【教職】熊江秀一(大宮)、小池正造(東新潟)、町田さとみ(初雁)、栗原清(武蔵豊岡)、田中かおる(安行)、成田頭靖(日立)、武田真治(上尾合同)、片岡実子(東中通)、嶋田恵悟(土浦)、佐野明子(塩谷一粒)、新保能宏(新発田)、須賀工越谷、飯塚拓也(竜ヶ崎)、長谷川直紀(桐生) 【信徒】半田香代子(原

【教職】熊江秀一(大宮)、小池正造(東新潟)、町田さとみ(初雁)、栗原清(武蔵豊岡)、田中かおる(安行)、成田頭靖(日立)、武田真治(上尾合同)、片岡実子(東中通)、嶋田恵悟(土浦)、佐野明子(塩谷一粒)、新保能宏(新発田)、須賀工越谷、飯塚拓也(竜ヶ崎)、長谷川直紀(桐生) 【信徒】半田香代子(原

【教職】熊江秀一(大宮)、小池正造(東新潟)、町田さとみ(初雁)、栗原清(武蔵豊岡)、田中かおる(安行)、成田頭靖(日立)、武田真治(上尾合同)、片岡実子(東中通)、嶋田恵悟(土浦)、佐野明子(塩谷一粒)、新保能宏(新発田)、須賀工越谷、飯塚拓也(竜ヶ崎)、長谷川直紀(桐生) 【信徒】半田香代子(原

【教職】熊江秀一(大宮)、小池正造(東新潟)、町田さとみ(初雁)、栗原清(武蔵豊岡)、田中かおる(安行)、成田頭靖(日立)、武田真治(上尾合同)、片岡実子(東中通)、嶋田恵悟(土浦)、佐野明子(塩谷一粒)、新保能宏(新発田)、須賀工越谷、飯塚拓也(竜ヶ崎)、長谷川直紀(桐生) 【信徒】半田香代子(原

鳥取教会を会場に

東北

教区財政逼迫、危機感を共有

第79回東北教区定期総会。例年は午後から開会... 仙台青葉荘教会を会場に



仙台青葉荘教会を会場に

のうちは109名の出席を... 議事冒頭で高橋真人議長... 東日本大震災から13年... 教区財政が大変に逼迫

算、宣教計画などの法定議案が承認・可決された... 【信徒】鎌田仁美(涌谷)...

教育委員会

クリスマス献金送付先を決定

第7回教育委員会が、6月4日にオンラインで開催された。2023年度に全国諸教会、学校...

題対策支援室いずみに150万円、さらに緊急支援が必要との判断で、アハリ・アラブ病院(パレスチナガザ地区)と北...

3月8日に予定されていたクリスマス教育主事認定試験は、受験者がなく実施されなかったが、受験希望者からの問い合わせがあったことが報告...

伝道委員会

「農村伝道」に関する協議会について審議

第5回伝道委員会が6月11日オンライン(ズーム)で開催された。委員全員が出席し、開会礼拝の後、関係委員会・担当者の報告を受けた。

この内容を委員会共有した。主な協議事項 (1)第12回「農村伝道」に関する協議会の件、日程は2025年2月18日、会場はアジア学院...

働く卒業生の話や時間を設ける。学院見学や希望者には農作業参加も可能。総会期をまたぐこととなるが今委員会の責任のもと開催する。なお詳細は継続審議とした。

クリスマスチャントウエイ裁判報告会

メディアリテラシーが一層問われる

株式会社クリスマスチャントウエイ(CT)が異端・カルト110番編集顧問の根田祥一氏に対し、『ダビデ牧師(張在亨)ダビデ張』と共同体を考える会」ブログ記事を引用した投稿で名誉が毀損されたとする損害賠償請求訴訟を起し、地裁判決が4月22日に...

判決では、①原告CTが張牧師の設立した諸団体・教会と関係があり、その宗教的影響下にあること、②張氏が米国で設立したオリベツト大学が不正融資事件で罰金刑を受け、設置当局から閉鎖を命じられたこと、③原告関係者が属した東京ソフィア教会では「ダビデ牧師」を「キリストの再臨」と関連つけて示唆していたが、そのような宣教の支障となる事実を打ち明けないことを「知恵」であると説き、教えの内容を他言せず、既存の他の教会に所属するよう求めたこと、④信者に無償労働や借財(カードローン)で献金させ、困窮のあま...

るような組織体制が維持されていたと推認することはできない」との理由で、ブログの一部が名誉棄損にあたるとして110万円の賠償請求に対して50万円の支払いが命じられた。しかし、CTが提出したブログ管理人の中橋祐貴氏が「原告の名誉を毀損し、事実と信じて東京ソフィア教会に通っていることを峯野龍弘牧師に秘して徒橋教会に通った」として反する内容を発信した」と認めたとする「謝罪文」については、中橋氏が原告から告訴されたことを機に精神的に追い詰められ、訴訟終結を優先する意向を強めていたことが考慮され、この「謝罪文」によってブログ記事の真実性は否定されないとの判断がされた。

報告会では、事実関係を十分確認・検証せず、CT擁護に協力しているキリスト教関係者が今も見られることが言及され、メディアリテラシーが一層問われていることが指摘された。



「第14回教区青年担当者会」については、オンラインで開催し、主題は「青年担当者は何をやる？」とすることを決定した。(三ツ本武仁報)



崎枝農場と  
ことも農村自然塾

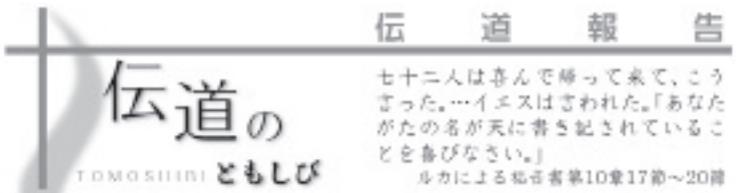
石垣農村伝道所物語のはじめです。時は1998年7月30日。その日、牧師家族が信濃の国、上田の地から海路八重山の地、石垣島に上陸しました。当時はまだカーフェリーが航行していた、なかなかの旅になりました。高校3年在学中の長女をひとり小諸に残しての家族7人の船出でした。彼女は1年半後に進学して、那覇にある教会の寮のお世話になりました。

「この日、石垣島へと舵を切るに至った契機は、「1995年沖縄米兵少女暴行事件」です。その衝撃が私の背を押して、

必要としている。重く厚かった扉が開かれました。沖縄島在住の今は亡き友人は「川崎君、君の神さまは生きています」と言っていました。彼は「君が沖縄に来ても、迷惑をかけるだけだからこの計画には賛成できない」と忠告してくれた人の一人です。自給伝道の道が開かれて21年の月日が経っていました。2019年10月29日、石垣農村伝道所は教団総会議長の同意を得て誕生しました。難産の子は、可愛いといえます。この日に至る歩みの中で、崎枝農場（1ヘクタール）の開設（2010年）、名蔵折りの家の開所（2012年）の道が開かれました。

「石垣農村伝道所は「家の教会」です。教会形成の土台を「主の食卓を囲んでささげる

待ったなしの決断となりました。私を石垣に招いてくれた友人の「沖縄は決して癒しの島なんかじゃない。癒しを必要としている島なんだ。川崎君、農村伝道してくれ！」との言葉、そして彼の父君の「川崎さん、沖縄（島）ではなくて石垣にしなさい」と声をかけてくださったこと。このお二人の言葉は、私にとって余りある力となりました。沖縄は私を必要としてくれた人々の一人です。必要としている。重く厚かった扉が開かれました。沖縄島在住の今は亡き友人は「川崎君、君の神さまは生きています」と言っていました。彼は「君が沖縄に来ても、迷惑をかけるだけだからこの計画には賛成できない」と忠告してくれた人の一人です。自給伝道の道が開かれて21年の月日が経っていました。2019年10月29日、石垣農村伝道所は教団総会議長の同意を得て誕生しました。難産の子は、可愛いといえます。この日に至る歩みの中で、崎枝農場（1ヘクタール）の開設（2010年）、名蔵折りの家の開所（2012年）の道が開かれました。



伝道推進室より応援した教会・伝道所

### いのち・平和・共に生きる生活

石垣農村伝道所牧師 川崎 正志

「聖書を読む会」に定めました。「聖書を読む会」は、「聖書研究祈祷会」でも「聖書を学ぶ会」でもありません。これはもちろん大切ですが、キリスト信仰の究極は、聖書を「共に」読むことにあると考えるからです。2021年9月、多くの方々の祈りとご支援によって礼拝堂が完成しました。木造1階建て、切妻屋根の上には十字架を立てませんでした。内部正面に3枚の縦長窓があるだけです。礼拝堂建築は、私たちの思いを遙かに越えた神のなせる奇跡の業でした。礼拝堂完成に至る石垣農村伝道所の航海は、順風満帆ではありませんでした。これから荒波に揉まれる航海が続くことでしょう。

### 事務局報

青戸宏史(隠退教師)



24年5月1日逝去、84歳。大連生まれ。67年日本聖書神学校卒業、同年より札幌教会、函館聖十字伝道所、谷村、青梅、青山、和歌山、藤枝、小金井西ノ台教会牧会し、19年隠退。遺族は息・青戸知さん。宮内教司(隠退教師)



24年5月2日逝去、90歳。山形県生まれ。61年同志社大学大学院修了、同年より東京山手、福島伊達教会を牧会し、聖光学院、敬和学院、共愛学園に務め、99年隠退。遺族は妻・宮内礼子さん。



24年6月5日逝去、94歳。東京都生まれ。58年東京神学大学院修了、同年より須坂、原宿、聖蹟桜ヶ丘教会を牧会し、00年隠退。遺族は息・中野美さん。



南部泰孝(城南伝道所主)

担任教師) 24年6月17日逝去、89歳。東京都生まれ。61年東京神学大学院修了、64年より東洋英和女学院に務め、70年より銀座、水戸中央教会、城南伝道所を牧会。遺族は妻・南部直子さん。

### お知らせ

日本基督教団信仰職制委員会発行の『教憲教規の解釈に関する答申集』(2010年12月)と【補遺】(2016年10月)をセットで500円(税込)、別途送料98円で販売いたします。【補遺】のみは100円。どうぞご利用ください。

### 「カルト問題相談会」

◎日時 2024年7月26日(金) 午後1時～3時  
◎会場 日本キリスト教会館4階AB会議室  
東京都新宿区西早稲田2-3-18  
電話03-3203-4270

### 厳しい教会の現状 の中からの希望

今年度、教団問安使として4教区の総会に出席させていただきました。問安使挨拶への質疑(協議会での発題者としての質疑を含む)を通して様々な意見をお聞きし、改めて教団の役割を考えた。また、教団総会での協議を通して、各教会の声を聞き出すことができたことにも感謝している。いずれの教区総会でも語られていたのは、会員数の減少や教会会計の逼迫など各教会の直面している厳しい現状であった。しかし、大変に残ったのは、単に厳しい現状だけではなく、その中でどのように伝道を進めていくのか、そのことについての声も多かったことである。特に、教会間の連携や若年層に対する教会としての関わりなど、それぞれの教会の歩みの中から示された課題や展望が率直に語られたことが印象的であった。そのような各教会の取り組みの中にこそ、教団の未来が開かれていくよう思われた。30年程前、初任地に赴任した私に、長く四国教区形成に携わった牧師が言われた。「教団は早稲田(事務局がある場所)ではなく、あなたが赴任した教会の足元にある」と。それぞれの地での教会の伝道の歩みにこそ教団の伝道の姿があると、お伝えになられたと思う。既に召されたその牧師の言葉を、問安使の働きを通して、もう一度受け止めさせられたように思う。(教団総会議書記 黒田若雄)